

教育委員会事務事業
点検・評価報告書

(令和2年度実績)

令和3年9月

小鹿野町教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度について	・ ・ ・ ・	1
2	令和2年度小鹿野町教育行政重点施策	・ ・ ・ ・	1
3	点検・評価の項目	・ ・ ・ ・	2
4	達成度と評価結果	・ ・ ・ ・	2
5	点検・評価表	・ ・ ・ ・	3

1 教育委員会の点検・評価制度について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を報告書として議会へ報告するとともに、公表することが義務付けられています。

小鹿野町教育委員会では、令和元年度から5年度までを期間とする「第2次小鹿野町教育振興基本計画」を策定し、それに基づき毎年「教育行政重点施策」を策定しています。

今回の報告書は、令和2年度小鹿野町教育行政重点施策に基づく取組結果を点検し、評価を行ったものです。

2 令和2年度小鹿野町教育行政重点施策

基本目標

〇かがやく未来へ おがの人づくり

目指す子供像

郷土小鹿野に誇りを抱き、
確かな「人間力」を身に付けた子供

※人間力とは、①確かな学力 ②社会性 ③夢に向かう活力 ④心身の健康

目指す町民像

一人一人が生涯にわたって主体的
に学び続け、互いに支え合う町民

重点施策

<学校教育分野>

(1) 確かな学力の育成

- ①小鹿野ベースによる授業改善
- ②おがの自学ノートによる主体的な学びの育成
- ③学校組織体制の工夫・改善

(2) 豊かな心の育成

- ①新たな伝統の創造
- ②ほっとハートキャンペーンの推進
- ③健康の保持・増進

(3) 夢に向かう活力の育成

- ①夢育成プロジェクトの推進
- ②ハートコンタクトプログラムの推進
- ③海外交流事業の推進

(4) 小鹿野ならではの教育の推進

- ①ファミリー5か条(おがの家庭教育宣言)の充実・発展
- ②小鹿野未来塾の充実
- ③小鹿野ふるさと学習の充実

(5) 次世代へつなぐ教育環境の整備

- ①望ましい教育環境の整備に向けた地域との合意形成
- ②小鹿野高校との連携による地域教育の発展
- ③ICT機器の活用による教育環境整備

<社会教育分野>

(1) ライフステージに合わせた学習機会の提供

- ①家庭教育の推進
- ②成人教育の推進
- ③人権教育・啓発の推進

(2) 生涯学習推進体制の整備と促進

- ①学習機会の創出
- ②人材の確保
- ③社会教育施設の維持管理と活用

(3) 生涯スポーツと健康づくりの推進

- ①スポーツ施設の維持管理・有効活用
- ②団体・クラブの指導者の育成
- ③スポーツ活動の場と機会の充実

(4) 芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用

- ①文化財保護と活用の推進
- ②伝統文化の伝承後継者の育成
- ③文化芸術活動の充実

(5) 地域の学びを支え、知の拠点としての図書館機能の充実

- ①知の拠点としての連携サービスの推進
- ②情報基地としての資料の充実
- ③子供読書活動の推進

3 点検・評価の項目

No	点検・評価項目	主担当課
1	教育委員会会議の実施状況	学校教育課
2	教育委員の活動状況	同 上
3	学力向上に向けた授業改善	同 上
4	家庭学習習慣の定着	同 上
5	教職員の資質向上	同 上
6	小鹿野未来塾による学習意欲の高揚支援	同 上
7	ハートコンタクトプログラムの推進	同 上
8	おがの家庭教育宣言の推進	同 上
9	語学力・コミュニケーション能力の育成	同 上
10	自他の命と心を大切にする教育の推進	同 上
11	健康教育の推進	同 上
12	ライフステージに合わせた学習機会の提供	社会教育課・公民館
13	生涯学習推進体制の整備と促進	公民館
14	生涯スポーツと健康づくりの推進	社会教育課
15	芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用	社会教育課・公民館
16	地域・家庭・学校の連携による家庭教育の推進	社会教育課・学校教育課
17	図書利用者サービスの充実	図書館
18	図書資料の充実	同 上
19	子供読書活動の推進	同 上

4 達成度と評価結果

達成度	評価
100%	A 【目標どおりまたは以上】
80%以上100%未満	B 【概ね目標どおり】
60%以上80%未満	C 【目標をやや下回る】
40%以上60%未満	D 【目標を大きく下回る】
40%未満	E 【未実施または再検討】

※達成度：会議の開催回数など、実績値などから目標達成率（ ）内数値を算出し、平均値（下線付き数値）を記載

※評価：上記表の5段階評価を記載

5 点検・評価表

1 教育委員会会議の実施状況				《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題	
		<u>100</u>	A	<p>●町の教育施策や教育課題に即時対応するため、各教育機関から提出された議案等に対し適切な審議を行うとともに教育行政等について意見交換をする場を設けることができた。今後も定例会の適切な審議、運営に努めていく。</p>	
①定例会	①定例会	(100)			
月1回 年間12回開催	<u>12回</u>				
②臨時会	②臨時会	(-)			
随時	<u>一回</u>				
	※開催案件無し				
2 教育委員の活動状況				《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題	
		<u>88</u>	B	<p>●総合教育会議を通じて、町の教育行政について町長と教育委員会で目標や課題の共有化を図ることができた。今後も町長とより緊密に連携をしながら、教育行政を推進していく。</p> <p>●各学校の教育環境や学校が抱える課題を確認するとともに、児童・生徒の授業中や校内での様子を把握するため、各小中学校5校の訪問を実施した。また、運動会及び体育祭並びに入学式及び卒業式については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から出席取り止めとなった。</p> <p>●各市町村教育委員会の連絡調整を目的とした県及び秩父地区教育委員会連合会の役員会、総会に出席し議案等に対し適切な審議を行った。また、教科書採択協議会では教科書について事前に教科書の調査を行い、公平な採択を実施した。</p>	
①総合教育会議出席	①総合教育会議	(100)			
	(第1回) ・文化財保護について等 (第2回) ・令和2年度地区学校教育推進協議会の報告について等	<u>2回</u>			
<u>2回</u>	<u>2回</u>				
②学校訪問及び学校行事出席	・各小・中学校訪問	(100)			
<u>1回</u>	<u>1回</u>				
<u>5回</u>	・運動会及び体育祭	<u>一回</u>			
<u>10回</u>	※出席取り止め ・入学式及び卒業式	<u>一回</u>			
	※出席取り止め				
③教育委員の町外会議出席	・教育委員会連合会会議	(63)			
<u>6回</u>	<u>4回</u>				
	※6回中2回開催中止				
<u>2回</u>	・教科書採択協議会	<u>1回</u>			
	※2回中1回開催中止				

3 学力向上に向けた授業改善			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>180</u>	A	<p>●新型コロナウイルス感染症の影響により全国及び県学力・学習状況調査は中止となったが、各学校で自主的に調査を実施した。自校採点による分析を行い、課題に対しての対策を講じたり授業改善へと繋げたりすることで学力向上に向けた取組を実施した。</p> <p>●小鹿野ベースをもとに、小・中学校の系統性、連続性を意識した授業改善研修を行い、更なる学力の伸びへと繋げていくことができた。</p>
①全国及び県学力・学習状況調査における正答率向上 <u>県平均を上回る</u>	正答率が県平均を上回った項目数 ※調査中止 <u>二</u>	(一)		
②県学力・学習状況調査の結果向上 <u>全ての教科で伸長</u>	伸びが認められた教科数 ※調査中止 <u>二</u>	(一)		
③授業改善研修会の実施 <u>全10回</u>	授業改善研修会の実施 <u>全18回</u>	(180)		
4 家庭学習習慣の定着			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>107</u>	A	<p>●おがの自学ノートの改訂にあたり、掲載用絵画を募集した。掲載用絵画の作成を通して、意欲・関心の更なる向上を図ることができた。</p> <p>●おがの自学ノート改訂版の完成にあたり、町広報で自学ノートの取組を発信した。今後も家庭・地域を巻き込んだ共学の更なる推進を図っていく。</p>
①おがの自学ノートの使用率 <u>一人5冊</u>	おがの自学ノートの平均使用率 <u>一人6.1冊</u>	(122)		
②おがの自学ノートによる保護者・地域との共学の推進 <u>小学校全4校に配付</u>	おがの自学ノート改訂版を作成し配付 <u>小学校全4校に配付</u>	(100)		
③おがの自学ノート普及のための取組 <u>全2回</u>	・町広報で推奨 ・学校に働きかけ <u>全2回</u>	(100)		
5 教職員の資質向上			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>114</u>	A	<p>●採用後5年以内の教員を対象にした研修会を予定回数以上の6回実施し、資質の向上に努めた。</p>
①若手教員研修会の開催 <u>5回</u>	若手教員研修会の開催 <u>6回</u>	(120)		

②外国語教育研修会の開催 4回	外国語教育研修会の開催 6回	(150)		●新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、長期休業期間に各学校で研修会を開催し教員の資質向上を図った。
③ICT機器活用・プログラミング研修会、小・中学校情報教育推進委員会の開催 8回	・ICT機器活用・プログラミング研修会の開催 ・プログラミング教育年間計画の確認 8回	(100)		●小学校において令和2年度のプログラミング教育を実施するための研修会を実施し、題材開発・指導法の研究推進とICT活用のリーダー育成を図った。
④校務支援システム操作研修会の開催 4回	・学校保健関係システム研修会：1回 ・校務支援システム導入時研修会：1回 ・校務支援システム基本操作研修会：1回 ・校務支援システム年度更新操作会：1回 4回	(100)		●令和3年度導入の校務支援システムに関する準備・操作研修会及び各学校の名簿等の様式統一など導入の準備、活用の周知を図った。
⑤学校教育指導員配置 5名	学校教育指導員配置 5名	(100)		●教育委員会内に学校教育の見識を持つ学校教育指導員を配置し、学校に対して直接指導や学習指導等の相談に応じることで教育の充実を図った。
6 小鹿野未来塾による学習意欲の高揚支援			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		98	B	
①小鹿野未来塾開催 全25回	小鹿野未来塾開催 ・英検チャレンジ:4回 ・漢検チャレンジ:5回 ・小学生英語体験講座:一回 ・中学生未来塾:9回 ・科学不思議講座:4回 全22回	(88)		●地域の方や小鹿野高校の協力により5年目を迎えたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、講座数、実施回数を減少しての開催となった。開設した4講座の出席率は84%と大変高く、英検、漢検への受験者数が増加し、合格率の上昇も見られた。また、今年度から教職員や保護者・家族の参加者数も増えており、今後も引き続き「親子共学」の気運を高めていきたい。
②検定料助成 英検：119人 漢検：117人 計：236人	英検・漢検検定料助成 英検：126人 漢検：142人 計：268人	(114)		
③未来塾講師配置 22名	未来塾講師配置 20名	(91)		●未来塾講師や学校教育指導員など人材を十分生かし活用することができた。今後も引き続き人材確保に努めていく。
④学校教育指導員配置 1名	学校教育指導員配置 1名	(100)		

7 ハートコンタクトプログラムの推進				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	●9年間の成長をまとめるファイルを通して、自らの成長を確認し、今後の夢や志に繋がる取組を更に充実させていきたい。また、中学校の要望により2年生に配付した。
①「志ノート」を活用した夢や志の育成 中学校2年生全員に配付 <u>全104名</u>	9年間の成長をまとめるファイルを中学校2年生に配付 令和2年度小鹿野中学校2年生全員 <u>全104名</u>	(100)		
②「おがのこことだま百選」による保護者・地域との共学の推進 各小学校1、3、5年生に配付 <u>全260名</u>	「おがのこことだま百選」の冊子を作成し、配付 各小学校1、3、5年生 <u>全260名</u>	(100)		●各小学校で独自の「暗唱活動評価」を工夫し、校内だけでなく、保護者や地域を巻き込んだ暗唱活動が展開できた。今後、暗唱活動を町全体の取組に拡大していきたい。
8 おがの家庭教育宣言の推進				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>103</u>	A	●各学校で具体的な約束を掲げ、ファミリー5カ条に取り組んだことで、家庭学習の習慣化の定着に繋がった。更なる周知・啓発を図り、親子ともに意識を高め、学力向上に繋げていきたい。
①家庭教育宣言の推進 <u>5校でのPR</u>	家庭教育宣言の推進 PTA支部だよりを5校に配付	(100)		
②家庭における学習時間を習慣化する <u>全児童・生徒の90%</u>	家庭学習の習慣化を図る <u>全児童・生徒の95%</u>	(106)		
9 語学力・コミュニケーション能力の育成				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>65</u>	C	●卒業時の英検3級取得者割合は減少し目標から遠ざかってしまったが、1、2年生の英検取得者は大幅増加しているため卒業時までの3級取得に繋げていきたい。
①英語検定取得者の増加 <u>中学校卒業時の英検3級取得者40%</u>	英語検定3級取得者の割合 <u>中学校卒業時の英検3級取得者19%</u>	(48)		
②おがのこども園における英語体験の推進 <u>ALTの派遣 年11日</u>	おがのこども園での英語体験推進 <u>ALTの派遣 年9日</u>	(82)		●小学校の英語教科化を踏まえ、年間指導計画に位置づけ、おがのこども園への派遣を計画的に実施することができた。

10 自他の命と心を大切に教育の推進			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	
①人権教育研修会の開催 <u>教職員対象 2回</u>	人権研修会の開催 <u>教職員対象 2回</u>	(100)		●町内教職員全員を対象に人権研修会を開催し啓発を図った。
②学校教育相談員の配置 <u>1人</u>	学校教育相談員の配置 <u>1人</u>	(100)		●教育委員会内に専門の相談員を配置し、学校配置の相談員と連携しながら、問題に即座に対応することができた。
11 健康教育の推進			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>62</u>	C	
①学校において食育授業実施 ・栄養教諭による食育授業を実施 <u>年10回</u> ・食に関する指導 <u>80時間</u>	・栄養教諭による食育授業を実施 <u>年5回</u> ・食に関する指導 <u>21時間</u>	(50) (26)		●計画した食に関する指導については、新型コロナウイルス感染症の影響により十分な学校訪問ができず、また4月、5月の臨時休校の影響で指導時間も減ってしまった。今後も内容を充実させ、食育授業の時間確保を図っていく必要がある。
②食育の啓発 <u>11回</u>	給食センターだより発刊 <u>12回</u>	(109)		●給食センターだよりを毎月発刊し、食育に対する意識の高揚を図ることができた。
12 ライフステージに合わせた学習機会の提供			《社会教育課・公民館》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>68</u>	C	
①小鹿野ときめき生活推進大学開催 <u>全8回・延べ360人</u>	小鹿野ときめき生活推進大学開催 <u>全6回・延べ254人</u>	(71)		●小鹿野ときめき生活推進大学の講座は、全8回開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3講座を中止し、8月に特別講座を1回実施した。
②教養講座開催 ・中央公民館 <u>16講座／全32回</u> <u>延べ320人</u> ・両神公民館 <u>15講座／全24回</u> <u>延べ345人</u>	教養講座開催 ・中央公民館 <u>8講座／全19回</u> <u>延べ187人</u> ・両神公民館 <u>9講座／全16回</u> <u>延べ269人</u>	(68) (58) (78)		●教養講座（中央公民館）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8講座／全13回を中止した。 ●教養講座（両神公民館）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6講座／全8回を中止した。

・生涯学習講座開催 3講座／78人	・生涯学習講座開催 0講座／ <u>二人</u>	(一)		●生涯学習講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全講座を中止した。
③訪問講座開催Ⅰ <u>延べ25人</u>	交通安全教室・いきがい 学級開催 <u>延べ16人</u>	(64)		●訪問講座は各地区老人クラブの協力を得て、集会所を会場としている。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交通安全教室は全て中止となり、いきがい学級は1クラブのみ実施した。
④訪問講座開催Ⅱ 5会場／ <u>延べ50人</u>	地区別人権学習会開催 0会場／ <u>延べ一人</u>	(一)		●地区別人権学習会の対象地区と調整を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全て中止となった。コロナ禍ではあるが、今後も人権意識の高揚・啓発のため、多くの方が参加できるように工夫を行っている。
⑤婚活イベント開催 <u>延べ60人</u>	・婚活イベント ※すべて中止 <u>延べ一人</u>	(一)		●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた婚活イベントは、すべて中止となった。
13 生涯学習推進体制の整備と促進			《公民館》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>80</u>	B	
①小鹿野文化祭の 開催 参加：5日間／ <u>12団体</u>	文芸・美術展部門のみ 開催 参加：5日間／ <u>12団体</u>	(100)		●小鹿野文化祭は公演部門、単独部門（生花展・映画会等）は中止し、文芸・美術展部門のみを3/3～3/7までの5日間で開催した。
②両神ふるさとまつ り文化展の開催 参加： <u>10団体</u>	両神ふるさと総合会館 文化展の開催 参加：個人10名 <u>6団体</u>	(60)		●中止となった両神ふるさとまつり文化展の替わりとして、両神ふるさと総合会館内で文化展を開催し、6団体、個人参加10名の作品を展示した。
14 生涯スポーツと健康づくりの推進			《社会教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>44</u>	D	
①スポーツ教室開催 <u>10教室</u>	子供ソフトテニス・卓球 ・バドミントン実施 <u>3教室</u>	(30)		●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くのスポーツ教室、大会が中止となった。感染対策を行い、コロナ禍でも開催できる方法を検討していく必要がある。
②スポーツ大会開催 18種目20大会 <u>総参加者：9,500人</u>	スポーツ大会開催 3種目4大会 <u>総参加者：148人</u>	(2)		
③体育施設の整備 ・(仮称) 小鹿野町相撲場 設計業務委託	体育施設の整備 ・(仮称)小鹿野町相撲場 設計業務委託 <u>R3.3.24完了</u>	(100)		●相撲場の建設に向けて、設計業務委託を実施した。

15 芸術・文化活動の推進と文化財の保護・活用		《社会教育課・公民館》		
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>108</u>	A	<p>●近隣市町の美術展が中止されている中、新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催することができた。出展者からは喜びの声が寄せられた。</p> <p>●文化講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p> <p>●歌舞伎郷土芸能祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p> <p>●常設で見学可能な歌舞伎さろんを文化センターに整備し、地域文化を多くの方に見てもらうことにより、地域に対する愛着を感じてもらうことができた。</p> <p>●学校で伝統芸能体験を実施した。三田川小で小鹿野歌舞伎保存会に指導いただき12/5の授業参観日に歌舞伎を披露することができた。</p>
①小鹿野美術展開催	小鹿野美術展開催			
<u>総出展数/400点</u>	<u>総出展数/379点</u>	(95)		
<u>入場総数/800人</u>	<u>入場総数/840人</u>	(105)		
②文化講演会開催	文化講演会開催	(-)		
<u>入場者/600人</u>	※開催中止 <u>入場者/—人</u>			
③歌舞伎郷土芸能祭開催	歌舞伎郷土芸能祭開催	(-)		
<u>来場者/1,200人</u>	※開催中止 <u>来場者/—人</u>			
④文化財活用事業の展開	・小鹿野歌舞伎さろんの活用	(132)		
<u>来場者/300人</u>	<u>来場者/395人</u>			
⑤小中学校の総合的学習で伝統芸能を体験	小学校で神楽、歌舞伎体験 中学校で歌舞伎体験	(100)		
<u>発表会を実施</u>	<u>三田川小で発表会を開催</u>			
16 地域・家庭・学校の連携による家庭教育の推進		《社会教育課・学校教育課》		
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>71</u>	C	<p>●児童・生徒やその保護者の人権意識の高揚・啓発のため研修会を実施した。今後も保護者への働きかけを積極的に行っていく。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1講座しか開催できなかったが、参加者からは好評を得ており、講座の満足度は高かった。一方、参加者が集まらないので、参加者を増やす工夫を引き続き検討していく必要がある。</p>
①人権を考える集い (三田川小学校・小鹿野中学校で開催)	人権研修会の開催 (三田川小学校・小鹿野中学校で開催)	(101)		
<u>児童・保護者・教師</u> <u>160人</u>	<u>児童・保護者・教師</u> <u>162人</u>			
②家庭教育支援事業 3講座	家庭教育支援事業の開催 1講座			
<u>参加者/220人</u>	<u>参加者/24人</u>	(11)		
<u>満足度/80%</u>	<u>満足度/95%</u>	(119)		

③学校応援団への地域協力者の増加 <u>延べ/2,500人</u>	学校応援団への地域協力者の増加 <u>延べ/1,290人</u>	(52)		●学習支援、環境整備、安全活動など多方面にわたり、多くの協力を得られた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の方の協力を得られない時期があり、例年通りの活動ができなかった。
17 図書利用者サービスの充実			《図書館》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>83</u>	B	●新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館及び館内の改修工事に伴う臨時休館により、図書の貸出数が伸びなかった。 ●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設等への読み聞かせサービスはすべて中止した。代替案を検討していく必要がある。
①図書貸出者数の増加 <u>年間8,000人</u>	図書貸出者数 <u>年間6,177人</u>	(77)		
②貸出冊数の増加 <u>年間貸出冊数1人3.0冊</u>	貸出冊数 <u>年間貸出冊数1人2.1冊</u>	(70)		
③福祉施設等での読み聞かせの実施 <u>施設/月4回</u>	福祉施設等での読み聞かせ ※すべて中止 <u>一回</u>	(-)		
④児童施設等への資料貸出 <u>年間貸出数/1,800冊</u>	児童施設等への資料貸出 <u>年間貸出数/1,859冊</u>	(103)		
18 図書資料の充実			《図書館》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>103</u>	A	●図書館利用者のニーズに応えるため、リクエストされた資料等を中心に収集するとともに、寄贈された資料が例年より多くあった。
①蔵書資料数 <u>資料点数/71,000点</u>	蔵書資料数 <u>資料点数/71,763点</u>	(101)		
②新規受入資料数 <u>資料点数/3,600点</u>	新規受入資料数 <u>資料点数/3,932点</u>	(109)		
③資料の予約・リクエスト件数 <u>件数/1,700件</u>	資料の予約・リクエスト件数 <u>件数/1,678件</u>	(99)		
19 子供読書活動の推進			《図書館》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>108</u>	A	●昨年度未実施の該当乳児へのフォローを含め、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら実施したことにより参加率が向上した。
①ブックスタート・ブックチャレンジ事業の実施 <u>参加率/対象児90%</u>	ブックスタート・ブックチャレンジ事業 <u>参加率/対象児93%</u>	(103)		

②おはなし会の開催 <u>参加人数60名</u>	おはなし会 ※すべて中止 <u>一名</u>	(一)	●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していたおはなし会はすべて中止とした。
③調べる学習地域 コンクールの開催 <u>応募点数50点</u> <u>応募参加者70人</u>	調べる学習地域コンクール <u>応募点数52点</u> <u>応募参加者72人</u>	(104) (103)	●調べる学習地域コンクール、読書感想画コンクールともに応募点数が増えてきていることから、コンクールへの関心が高まってきていると思われる。今後は、応募者への支援に繋がる事業を充実させていく必要があると考える。
④読書感想画 コンクールの開催 <u>応募点数70点</u>	読書感想画コンクール <u>応募点数86点</u>	(123)	

